

## プロジェクト報告書

【締切:プロジェクト終了後1か月以内。もしくは 2011年4月30日】

団体名 児童養護施設 子供の家

### ▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

### 1. プロジェクト名

「shirjo プロジェクト」公募助成による職員研修事業

### 2. プロジェクトの目的とその背景 300文字まで

※応募申請書に記載のもので可。

・今日、児童養護施設に入所している子どもたちは被虐待、発達障害など様々な背景をもっている。子どもたちの現状を理解して適切な援助をするために職員の研修は不可欠です。また、虐待への手当としての取り組みを学び、日々の生活の中で試みていくための研修を実施しました。

### 3. プロジェクトの内容 300文字まで

※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のもので可。

・当初は外部から講師を招いての研修を計画しましたが、日程などの調整が困難になり講師を招いての研修は 2 回のみで開催となりました。  
・上記の事情もあり外部での研修に職員を積極的に参加させ、多くのことを学ぶ機会をいただきました。

### 4. プロジェクト実施にあたっての工夫点とその効果 300文字まで

・虐待によるダメージからの回復の試みが、実際的に証明されていない中でその内容に触れることはある程度の予備知識をえることが必要でした。

・外部研修では、その職員に必要な内容、レベルにあった研修を見つけることが必要でした。

### 5. 全体的所感、終了しての感想など 300文字まで

・今日の前にいる子ども達により良い対応、関わりをするためにも、職員が様々なことを学び、研鑽をつむことが必要であると日々感じています。今回の助成金によって、様々なテーマでの研修に参加し多くのことを学ぶことができたと思います。今年度は特に野外活動を通じてトラウマへの手当を考えるというテーマで、CANADA で実践されている Terracentric を体験できたことは非常に貴重な体験でした。ありがとうございました。

### 6. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動風景の写真を参考資料として提供してください。

参考資料あり ・ 特になし